

**富士が丘のサクラ守り、二年目の作業内容のお知らせ**

皆様におかれては、健やかに過ごしのことと思います。今年の極寒期に皆様と力を合わせて、車池公園・コミセン前のグラウンドのサクラの手入れを行いました。

この一年目の作業の成果は、個体差はありますが、木々の樹勢の回復は明らかに認められます。その詳細は後段に報告します。

さて二年目となる来春の作業ですが、初年度と同様に樹の元気を回復することを主眼とします。一年次の手入れに加えて、若干、作業の内容を高める工夫もしています。その詳細も同じく後段で述べております。

なお、作業の日程その他は、改めてご案内します。

早々、

**I 二年目の手入れの計画について**

- イ) 一年目の作業はすべてが初めてとあって、手入れの見落としが数箇所ありました。これらの手入れを行います。該当箇所には落葉する前に印をつけております。
- ロ) 枯れ枝の処理を主とする一年目の手入れに加え、並行枝と混み枝（逆さ枝、交差枝など）の切除を行います。これは夏季に枝葉間の風通しを確保、害虫の発生を抑えるためです。
- ハ) 冬期の肥料遣りを行います。
- ニ) 二年目の参加人数が一年目と同程度、あるいはそれ以上の場合は、同公園内の他のサクラも作業の対象を加えます。因みに、一年次の参加人数は、平均5名、整備したサクラの概数は20本強です。その約倍強のサクラが同公園内に植わっています。いずれもこれまで手入れされて来なかった木々です。

**II 一年目の作業の成果と期待について**

- イ) 施肥の効果もあって幹が太りました。新しい樹皮が縦じま模様を作っています。また、
- ロ) 枯れ枝をその付け根まで切戻した結果、あるいは腐朽部を掻き出した結果、新たな樹皮が処置面の外縁から中心に向かって拡がりつつあります。（添付写真をご参照）
- ハ) 樹勢の回復が順調ですと、開花時には、それまでは一つの花芽から伸びる花柄が精々3本から多くて4本であったものが、5本、7本と増えて行きます。こうなると樹全体の花のボリュームは圧倒的となります。各地のサクラ名所と呼ばれるそれら並みになることが楽しみです。

以上、

